

通し番号	中学校区	No.	大項目	小項目	分類	未回答	質問内容	回答
31	大浜中学校区	1	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと	機能		廃止または譲渡される施設の利用者は、これまでの利用とどう変わるのか。サービスの低下はないか。	統合、複合化により各施設が担っていた機能はできるだけ低下しないようにしていきたいと考えております。譲渡については、民間の活力によりサービスの維持または向上を目指していきたいと考えております。
32	大浜中学校区	2	再配置の方向性	防災	防災拠点		公共施設で避難所、避難場所として利用できる施設はあるか。	防災上の関係、安全・安心の事は大変重要なことだと思います。個々の再編を検討する場合には、防災拠点をどのようにしていくかということについて具体的に検討していきたいと思っておりますので、今後検討するということをご理解をいただきたいと思っております。
33	大浜中学校区	3	再配置の方向性	交通手段	防災拠点		公共交通政策では、29年度を起点として32年度を1期としており、すでに3年目に入っており、「これから検討する」というのは、どういうことか。	例えばスクールバスですが、色々な時間帯、一般市民の皆様や高齢者の皆様の移動手段として使っていただくということを検討していきたいということを回答させていただきました。ご質問の29年度を起点としたというのは、公共交通網形成計画のことをおっしゃっているのかと思っております。これにつきましては、全市的に今あるバス路線を維持、存続していく計画の内容となっておりますので、現行の公共交通網形成計画については、そのような路線の維持ということを主眼に進めているところでありますので、ご理解をいただきたいと思っております。
34	大浜中学校区	4	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと	防災拠点		施設の長寿命化のスタート時点のレベルは確保されていますか。	レベルというのは水準ということなのでしょうか？機能とことなのでしょうか？継続すべき施設につきましては、計画的に修繕を行い、長く使えるようにしてまいります。それから安全レベルの維持については、もちろんありますが確保してまいります。長寿命化というのはそのような考え方で進めていきたいと思っております。
35	大浜中学校区	5	再配置の方向性	財源不足	防災拠点		毎年30億円が不足とのことですが、現在も不足しているのか。計画実行しても不足の解消は50年後となるのか。	今後50年間で既存施設をそのまま更新していくと、必要な費用と予算を比較した時に1年あたりに平均すると30億円の不足となります。実際に建替が必要な時期は、施設によって異なり、様々になりますので、その時期に合わせて計画を実行することで常に不足が生じないように努めてまいりたいと考えております。
36	大浜中学校区	6	再配置の方向性	交通手段	防災拠点		小中が統合した場合、遠方の児童の通学にスクールバスを考えることができるか。公共施設統合の場合、公共交通の少ない地域では高齢者（弱者）の利用が大変となると考えられるがその対策は？	公共交通が少ない地域では、高齢者、弱者、そういった方々の利用に大変不便になります。そこに関して考えているかというご質問であると思っております。今から統合になると、地区によっては少し今までより学校が遠くなる地区も出てくるかと思っております。そういった地区の子供達に対しましては配慮が必要になりますので、先程から出ていますスクールバスも検討しますし、その地域に路線バスが走っていれば定期で通う対応も考えていきます。スクールバスを走らせるということになれば、当然子供だけではなく大人まで高齢者、弱者、そういった方々の利用もできるように配慮をできるように検討していきたいと思っております。

37	大浜中学校区	7	再配置の方向性	小中学校の再編	防災拠点	<p>小学校、園の統合により、通学が遠くなるが、安全等をどう考えるか。</p>	<p>先程、千浜小学校の統合のこともご質問があったわけですが、千浜小学校に限らず、市内全域で小学校に限ると13校が対象になってくると思います。全体の中で、どう再編していくかということで、子供の数が減ってくることによって、教育的な支障というところが色んなところ出てきます。子供数だけじゃなくて、今、社会全体に大人でも業種によってはかなり人不足というような状況が起きております。実は学校の中でも、教員の数が非常に不足しているという状況です。これは全国的にそうですが、その中でも静岡県内でもこの掛川市はここ最近急激に減ってきておりますので、色々な対策や対応を今現在もしているところです。ここ10年・20年と先を見ていった時に、そういった子供の数だけではなく学校の中で子供達を指導できる人材のことについても、しっかり考えていかなければならないと思っております。当然、指導するにはやっぱり中身ですね。未来の子供達、地域や掛川市や日本を担う子供達をいかに育てるかということやそういった大きな視点に立ちながら、今の掛川市の教育がどうあるべきかということもずっと検討していく中で、小中一貫教育ということを進めようとしております。この大浜中学校区でも、小中一貫教育をどのように位置づけ、進めたいかということも併せて検討し統合ということについて考えていきますので、その点、お時間もかかるんじゃないかと思えますけれども、そういった方向でいるということをご承知おきいただきたいと思います。</p>
38	大浜中学校区	8	再配置の方向性	小中学校の再編	防災拠点	<p>学校再編するのはいいが、子供がイジメにあった場合、学校の先生がまともな対応をしてくれるとは思えません。イジメにあってしまう生徒のための逃げ道も作っていただけますか。（他市の私学へ転校するしか道はないかもしれませんが…）</p>	<p>神戸市で起きた教員のいじめ、それは非常にショックを受けております。言語道断というか、あってはならないことなのですが、そんなことが実際に起きています。子供のいじめだけではなく、大人の方のいじめも社会の中で起きているというのは非常に残念です。いじめが起きないような社会づくりというのをやらないといけないわけですが、子供社会の中でも当然、教育委員会、学校教育の中で進めていかなければならないことで、これまでも努力はしてきています。</p> <p>これからの世の中、本当に色々なことがスピードアップして進んでいく中で、正直、全てに対応できる、またそれについて指導していくということは十分なところまでいかないことも場合によっては、すぐに対処できないようなケースも確かにございます。掛川市内では、こういったいじめに遭ってしまう児童生徒のために、南部の地域になりますと大東支所の4階にいじめとは限りませんが、学校へ行けないような状況である子供達をみどり教室と言いますけれども、学校からこちらの方へ来るように指導していただいて、子供達のまたは親御さんの相談を受けながら、学校へ戻れるような支援をしております。その他にも相談活動・支援活動もしているわけですが、今後も新しい学校施設を造っていくにあたりましては、そういったいじめだけではなくて不登校等の問題もありますし、虐待という家庭的な問題もございますので、そういったことも色々考えながら、そこの学校施設にはどんな複合化が望ましいか、そんなことも併せて検討し対応できるようにしたいと思っております。</p>

39	大浜中学校区	9	再配置の方向性	小中学校の再編	防災拠点		千浜小学校の存続は？	<p>今、3地区で説明会を行っておりますが、市内に31校ございまして小学校は22校ございます。その中の11校が現在、1学年に1クラスしかありません。私も単級学校、小規模校とも言いますがそういう状況でございます。</p> <p>千浜小学校は確か5年生が2クラスで他は単級学級状況だと思います。このままいくと2年後に単級学校となると推計しております。具体的な人数で申し上げますと、現在千浜小は178人の児童がおりまして、通常学級7クラスです。あと特別支援学級が2クラスございます。そういう状況ですが、今の0歳児が小学校に入った時、令和7年度になります、その時には現在の推計で158人、6学級になります。全ての学年が1学年1学級ということになります。これは千浜小学校に限らず市内全体の子供さんの数が、減ってきているということになります。大浜中学校区全体で見た時、今現在、大坂小、千浜小、大浜中の子供が現在896人おります。それが令和7年度になりますと769人。ということは約100人以上の数が減るというような状況になっております。従いまして千浜小学校の存続はということですが、昨年から市内小中学校全体の学校再編を考える上で、基本的には単級学級というのは再編の中で統合していくという考えで色々な案を検討している状況であるということになります。</p>
40	大浜中学校区	10	再配置の方向性	小中学校の再編	防災拠点		子供の安全はどう守るのか。	<p>亀山市や松阪市の事例を見てのご質問だと思います。今日お示した2つの先進事例につきましては、どちらも共通しているのは地域の方でしっかり子供を守ること、もちろん学校側からも守れるようにセキュリティの強化、そういったものも進めていると思います。この事業とは違うもっと先進的な大阪市の事例も見てきました。まちづくり協議会が中心となって、学校の共用スペースに常駐し登園・登校の時には危険箇所や心配なところは子供について行くという取り組みをしているところでございます。学校において、子供の安全ということについては今後、当然その地域性もございまして色々な危険箇所や危険なケース、色々と検討しながら子供の安全を第一に考えていきたいと思っております。</p>
41	大浜中学校区	11	説明会	説明内容	防災拠点	事例	再配置事例の紹介にあった方向で掛川も進めているのか。	<p>もちろん統一的な基準で全市的に再配置方針を定めております。この中では、もちろん地域の機能縮小という考え方をベースに地域の皆様のご意見をいただきながら、協議をして進めていきたいと考えております。</p>
42	大浜中学校区	12	再配置の方向性	縮充	防災拠点		複合施設のコストカット面は理解できるが、世の中に現状ある複合施設の注意点はないのか。利点ばかりで、うまく運用できていない点も聞き出したい。	<p>我々がお聞きするところによりますと、施設の整備にあたってはよく協議・調整が行われずに施設の複合化がなされた場合には、運用が上手くいかない聞いております。実際の事業化につきましては、個別の案件ごとに関係者との協議・調整が鍵を握ると考えております。</p> <p>先程、他市や他県の実例のご紹介をしましたが、こちらも非常に長い期間、地元の皆様と市教委等で話し合いを持ちながら、あのような施設を整備したと伺っておりますので、この点については丁寧に行っていきたいと思っております。</p>
43	大浜中学校区	13	再配置の方向性	縮充	防災拠点		「縮充」の意味がわからない。	<p>公共施設の再配置には財政的な理由がありますが、それだけではないと考えています。少子高齢化の進展や社会経済状況の変化により、既存の公共施設では対応し切れていない市民ニーズが今後増加することも予想されます。そのため、今回の再配置についてはそれらの新しい市民ニーズに対応した新たな公共施設サービスを構築する機会であると考えています。</p>

44	大浜中学校区	14	再配置の方向性	財源不足	防災拠点	毎年30億円の不足というが、不足となる根拠を示してもらいたい。	<p>今回の将来更新費用の試算では、現在保有する施設、これは民間も含めてでございますが、削減等の対策をせずに既存の施設数や規模のまま維持していく場合、1年あたり102億5000万円の費用が見込まれております。このうち、上水道会計や公共下水道会計、いわゆる基本的に市民の皆様からいただいた税金を投入しない会計を除きますと、およそ70億円が必要となっております。一方で、近年の建設投資額の状況のもとに道路の拡幅等の施設改良や新規事業の実施、今後の社会保障関係費等の増加を考慮しますと、既存施設の維持更新費用に充てることのできる財源は40億円になってまいります。</p> <p>これらについては、公共施設等総合管理計画というものを掛川市では、平成28年の3月に策定をしております。もしよろしければ、市のホームページにも掲載がございますので、そちらの計画書の33ページに今触れたような内容がございますので、ご覧になっていただければと思います。また、インターネット接続環境が無いようでしたら、企画政策課の方にお問い合わせいただければ、資料提供させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
45	大浜中学校区	15	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと	防災拠点	各中学校区の人口密度を知りたい。（ただし山などの面積は除いてもらいたい）	<p>大浜中学校区につきましては、本日の資料6に色が塗ってあります。資料の下に左から二つ目のところに人口密度がございますので、こちらのところでご確認いただければと思います。</p> <p>それから、大浜中学校区以外の中学校区の人口密度の関係、こちら本日の大浜中学校区と同じような資料を各中学校区で配布をさせていただいておりますが、今後ホームページ等に掲載することを検討していきたいと思います。もう一点の山林の面積を除いてということですが、森林の面積を除いて可住地面積ということだと思いますが、少し検討させていただきたいと思います。そのような算出も可能かどうかも含めて検討させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
46	大浜中学校区	16	再配置の方向性	個別施設	防災拠点	千浜西農村改善センターは、他地区の公民館、センター機能を担っています。廃止の方針と伺いましたが、この機能はどう代替していく考えですか。	<p>学校あるいは学童保育所については、学校再編の枠組みの検討は再編された新たな学校を拠点として、公民館機能やまちづくり協議会等の地域活動に必要な機能、それから学童保育所等の複合化を含め、地域の皆様と協議させていただきながら検討していきたいと考えております。</p>
47	大浜中学校区	17	再配置の方向性	計画の見直し		地震、台風の災害があった時の計画はどのようなか。	<p>この公共施設の再配置方針計画につきましては、10年ごとに社会経済情勢や市民ニーズの変化や計画の進捗状況等を踏まえて、見直しをしていく予定でおります。ただし、大規模な災害等があった場合に、大幅な計画変更が必要となる時には10年に限らず計画変更等していきたいと考えております。</p>
48	大浜中学校区	18	再配置の方向性	個別施設	防災拠点	シートピアはこの先、維持できるのか。お風呂を楽しみにしている人がたくさんいると思う。	<p>今回の再配置方針についても持続をするために、譲渡先を検討していくことでご理解いただければと思います。</p>
49	大浜中学校区	19	再配置の方向性	個別施設	防災拠点	シートピア等の施設について、譲渡先が見つからない、応じない場合は市で運営していくのか。	<p>現在のところ、譲渡という公民連携の推進を考えております。見つからない場合は、再度検討をしていくこととなります。</p>

50	大浜中学校区	20	再配置の方向性	各地域の平等性	防災拠点	計画を見ると、大浜中学校区が特に、10年以内に統合または減築という施設が多いと思う。南部地域における公共サービスの低下が心配。「住みやすさ」調査の結果でも南部地域の人達の満足度は低いのに、ますますそれが増えるのではないか。	先程、縮充という言葉でご説明させていただきましたけれども、人口が減っていくという社会経済情勢の中で、これについても縮充という方針の中で機能を充実していく、新しいサービスに対応できるような施設としていく、それから必要な機能については維持をしていくという考え方をしております。
51	大浜中学校区	21	再配置の方向性	縮充	防災拠点	場所が離れた施設の統合のイメージがわかりません。詳しく説明してほしい。	例えばですが、今回の公共施設の再配置につきましては、地域の拠点を学校に集約するという考え方をしております。例えばですけれども、まちづくり協議会の活動拠点については、地域の振興の核となるような施設を真ん中に集めていき、集めることによって機能的に一つのまちづくり協議会だけでは確保できなかった機能（広くなる等）を高くしていきたいという考え方でございます。
52	大浜中学校区	22	再配置の方向性	跡地・空き施設	防災拠点	公共施設を廃棄した場合に、土地（市有地）が必ず売れるとはかぎらないと思います。そのときの対応はどうするのか。	安全な管理を続け譲渡先を探していきたいと考えております。
53	大浜中学校区	23	検討の進め方	その他	防災拠点	再配置計画は、今現在誰が決めて、案を作成しているのですか。商工業者も案作成に加わっていますか。	掛川市の中で企画政策課を中心に全庁で、もちろん産業労働政策課等とも意見調整をしながら施設の管理については1年程ヒアリングを行ってきたところであります。商工業者の方もというような意見もございますので、今後、これについては色々なご意見をお寄せいただきたいと思っておりますし、利用者の方ですとか地元の関係者、それぞれにまたご意見をいただくことを考えておりますのでよろしくお願いいたします。
54	大浜中学校区	24	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと	防災拠点	公共施設というのは、住民の福祉増進のためという、重要な役割があると思います。マネジメントの視点として、経済効率（財政事情）が中心となっていないでしょうか。福祉の増進という視点は、どのようなマネジメントが行われているのでしょうか。	先程のご説明の中で「縮充」という言葉を使わせていただいておりますが、面積的には小さくなりますけれども、機能としては充実をしていきたいという考え方であります。少子高齢化の進展や社会経済情勢の変化によって、既存の公共施設では対応しきれっていない、新しい市民ニーズが今後増加することも予想されます。 従いまして、今回の再配置につきましては、それらの新しい市民ニーズに対応した、新たな公共施設、新たな公共サービス構築をする機会ということで考えているところでございます。
55	大浜中学校区	25	再配置の方向性	その他	防災拠点	掛川市の住みやすい町づくりの方針に対し、公共施設が統合・減少することにより、住みやすい町になるのか。魅力ある町になるのか。	

56	大浜中学校区	26	再配置の方向性	個別施設	防災拠点		<p>美感ホール、生涯学習センター、文化会館シオーネの統合が検討とありますが、地理的に離れていて利用しにくくなると思うが、やむを得ないのか。統合を実施するにあたり、要望を受ける機会等はあるか。</p>	<p>要望を受ける機会等はあるのかということにつきましては、実際の再配置を事業化していく段階で、個別案件ごとに地域の皆様や利用者の皆様等からご意見をいただいて、また関係の方と協議しながら具体的な検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>それと距離の離れている所の統合のイメージが浮かばないということですが、美感ホール、生涯学習センター、文化会館シオーネについては、先程の資料4の一番右側、黄色の部分、用途ごとに全市的に配置を検討する施設として位置づけをしております。そのようなことから、いわゆる文化ホール、市民ホールにつきましては、先程の説明の中で広域的な利用というものをお話させていただきましたけれども1市で持つべきものか、あるいは複数の自治体で運営すべきものか、あるいは全市的に必要な規模は？それから機能は？という視点で、耐用年数がきた段階で再編の方向を検討していきたいという考え方でありますのでよろしくお願いいたします。</p>
57	大浜中学校区	27	再配置の方向性	跡地・空き施設	防災拠点		<p>廃止施設の解体はしますか。</p>	<p>原則、解体を考えております。</p>
58	大浜中学校区	28	再配置の方向性	交通手段	防災拠点		<p>高齢者の利用のための足（車等）はどうするのか。</p>	<p>一つの方法ですが、例えば、学校が遠くなるということがありますと、スクールバスという可能性が出てくると思います。そういった時にバスを昼間の時間帯や小学生・中学生だけではなくて、一般の市民の方や高齢者の方にも使っていただくということも、これから検討をしていきたいと考えております。</p>
59	大浜中学校区	29	説明会	説明内容	防災拠点		<p>検討時期の記載がない施設はどうなりますか。</p>	<p>資料3の大浜中学校区の場合、浜野会館と千浜会館がオレンジ色の枠で囲まれております。こちらに関してのご質問であると思われます。検討時期の記載が無いものについては「継続」となります。長寿命化を図りながら丁寧に使っていきたくと考えております。</p>
60	大浜中学校区	30	再配置の方向性	防災	防災拠点		<p>各小学校は広域避難所となっています。再配置後、余剰施設となった場合、原則として解体または譲渡となり、住民が安心して避難できる場所が遠くなるのではないのでしょうか。</p>	<p>個々の再編を検討する際には、防災拠点をどのようにしていくかも同時に検討してまいります。</p>
61	大浜中学校区	31	検討の進め方	その他			<p>大きな問題で、短時間では理解できない。すべての事案について、企画のみで作成したものですか、精通したコンサルタントに相談した案ですか。</p>	<p>精通したコンサルタントにも相談させていただきながら、市役所の中の担当課全てで庁内横断的な形で再配置案を作成しております。再配置案の作成にあたりましては、担当課等もヒアリングや協議を約1年以上かけて行っておりまして、庁内連携が図られた状態で再配置をお示しているところでございます。</p> <p>学校関係のこと、教育委員会でも学校再編のことを検討しておりますが、これは教育委員会だけで考えているわけではございません。当然、消防局の関係のところ、それと大学の研究機関も入れまして研究を進めております。色々な課題がございますので分析しながら検討しているところでございます。</p>

62	大浜中学校区	32	再配置の方向性	小中学校の再編		○	<p>現在、進んでいる城東中や原野谷中については、統廃合という方向です。再配置の実践事例にあるような、地域住民の福祉向上になるような複合化ではないと思いますが、その点で見解を伺います。</p>	<p>城東中と原野谷中は、掛川市教委が3年間の研究指定をしております、小中一貫教育のカリキュラム研究を行っております。明日は原野谷中（原野谷学園）で研究発表がございます。城東中（城東学園）については、来週の金曜日の8日に城東中学校で研究発表を予定しております。どちらも、教育のソフト面（内容）の方を中心とした研究をしております。研究は教育のソフト面（中身）的なところになるわけですが、今ご質問いただいた、施設の統廃合また複合化ができるかできないかということになってきますと、ハード面的なことになろうかと思いますが、これまで二つの学園につきましては、それぞれ新しい学園づくりということで地区の検討委員会を立ち上げまして1年ほど検討してまいりました。</p> <p>その結果、それぞれの学園とも、小中一体型の学校施設または小中隣接型の学校施設となっております。できる限り色々な他の施設も絡めていけると良いというご意見もいただいているのですが、教育委員会としては、その時点では今日のような事例、亀山市や松阪市のような施設を、教育委員会の方でこういった施設をとすることは申し上げられませんが、その時点では教育施設を中心に検討を進めておりました。先程説明がありましたように、今後、学校施設（市内の小中学校全て）の再編を考える中で、地域の方々も利用できる学校施設、そういった施設にするためには、その地域・学校に何が必要なかということを検討していきます。城東中、原野谷中は統廃合だけで終わりというわけではないということは申し上げておきたいと思います。</p>
----	--------	----	---------	---------	--	---	--	--